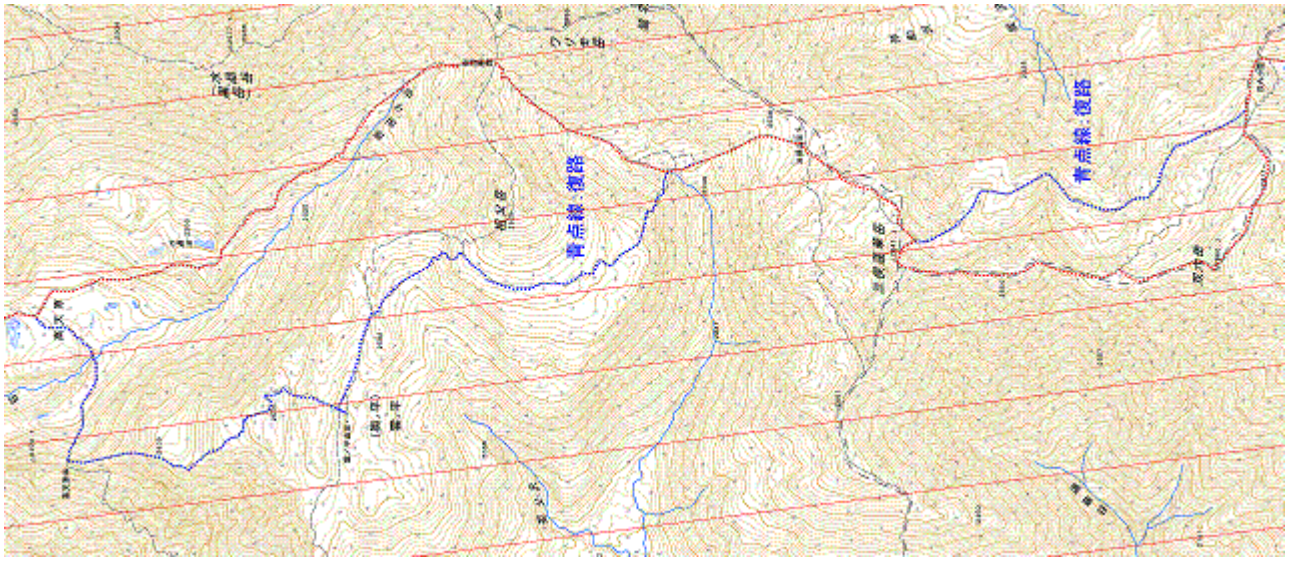
山 行 報 告 書

作成:2012 年 8 月 21 日
愛知岳連　岡崎山岳会

山名[山域]	雲の平、高天原　[北ア]	目的[方法]	夏山を楽しむ[一部周回]
期間	2012 年 8 月 7 日(火)～8 月 11 日(土)	形態	ﾂｪﾙﾄ 1 泊+小屋 2 泊

8/7(火)　晴れ	自宅(19:30)＝豊田南IC＝ひるがの高原 SA　TS1(2115)
8/8(水) 晴れ一時霧/晴れ	ひるがの高原 SA　TS1(310)＝高山西IC＝R158、R471 新穂高 P(430,500)-ｹﾞｰﾄ(525)-わさび平小屋(640,650)-秩父沢(815,825)-鏡平山荘(1120 昼食 1150)-弓折中段(1248)-弓折乗越(1335,1345)-双六小屋 TS(1455)　　【10 時間(休憩含む)　標高差 1460m】
8/9(木) 晴れ	起床 300　TS2(430)-双六小屋(432,500)-双六岳(625)-双六岳下(630,650)-三俣蓮華岳(810,830)-三俣山荘(915,945)-黒部源流水源地(1030)-昼食-岩苔乗越(1215)-水晶池(1415,1420)-高天原山荘 TS3(1505) 高天原山荘(1535)-高天原温泉(1600,1700)-高天原山荘(1730)　【10 時間+温泉往復】
8/10(金) 晴れのち曇り	起床 445　TS3(545)-高天原峠(645,655)-奥ｽｲｽ庭園(800)-雲の平山荘(900,930)-祖父岳分岐(1030,1045)-祖父岳(1110,1130)-祖父分岐(1150)-昼食-黒部源流(1330)-三俣山荘 TS4(1410)　　【約 8 時間 30 分】
8/11(土) 曇り	起床 300　TS4(445)-三俣蓮華岳分岐(550)-双六小屋(650,720)-弓折乗越(825,840)-鏡平山荘(915,930)-秩父沢(1005,1020)-わさび平小屋(1205,1220)-新穂高 P(1340,1355)＝温泉(1405,1505)=夕食=高山西IC＝豊田南IC＝自宅(1930)　【約 9 時間】



日誌:

8/7(火)　1 時間半遅れの出発。ひるがの高原 SA　ｺﾝﾋﾞﾆ側にて仮眠。(ﾊｲｼｰｽﾞﾝは夜の内に新穂高 P 入りをお勧め。)

8/8(水)　新穂高Ｐの空きは 10 台程。登山口ｹﾞｰﾄに登山箱あり、陽ざし強く鏡平山荘前の日陰から槍、穂高連峰絶景を見上げ昼食。一時ｶﾞｽに包まれたが雪田や花畑も現われ、ほどなく双六池畔のﾃﾝ場に予定より早く到着。夕陽に染まる鷲羽、裏銀座の山並みと雲海は壮麗。　寒い中での山荘おでん(600 円)が美味しい。30/60 張、19 時就寝。

8/9(木)　冷えと風の音で幾度か目覚め 3 時を待って起床すると満点の星。出発後御来光も見られ稜線ﾙｰﾄは展望良好。荒天時は避けたい広い稜線である。双六、三俣蓮華岳を踏んで三俣山荘で明後日までの天気情報を得て鷲羽を巻く。黒部源流より沢沿いの緩やかな多彩な花道に嫌な予感。ｼｬﾘﾊﾞﾃ気味で乗越近くまで我慢。(登山者から数年前、熊の死骸と遭遇したと後で聞く。)稜線より再び降る花草原、沢、樹林帯に会う人なく、少ないﾃｰﾌﾟや足跡を意識した。期待した水晶池では蚊の襲撃に遭い逆さ水晶岳を撮るのがやっと。登山道は木道となりﾘﾆｭｰｱﾙした山荘着。竜晶池のあの大群を懸念し、白濁した温泉でまったり。休む前には乾燥室の衣類も乾き、ｶｰﾃﾝを閉めれば個室同様。　20 時就寝。

8/10(金)　2 日分の睡眠不足は解消し雲の平を目指す脚も軽い。よく整備されたﾊｲｳｪｲ道の花々、奥ｽｲｽ庭園や眺望を独占。ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞｵｰﾌﾟﾝした雲の平山荘では木の香り漂い、喫茶室の粋な曲を聞きながら大休止。祖父岳にも登り北から薬師、笠、黒部五郎、穂高連峰、鷲羽、水晶・・・高みから蒼々たる名山を再び愉しむ。幾つかの庭園を後に三俣山荘着となる頃には西より乱層雲が流れ始め、天候を危ぶみ素泊まりと決める。　屋内での自炊可　19 時就寝。

8/11(土)　温かいひつまぶし茶漬けをさらさらと流し薄暗い霧の中を早めにｽﾀｰﾄ。三俣蓮華岳を分け最短巻道の雪渓に支障はなく登り降りと多くの登山者が利用。降るにつれ槍穂の展望もあり弓折乗越では携帯も通じた。登りﾗｯｼｭの中で新婚 K 夫妻と出会いお二人の行く先々の天候を案じながら予定より早く下山となる。高速道に車多く度々雷雨に遭う。

感想:

ﾋﾟｰｸを踏むことよりも縦走路を繋ぐ目的もあった今年の夏山。天気に恵まれ過ぎゆく時を愉しむ山旅となった。